

2 研究の実際

(3) 実践に向けて取り入れた工夫

ア 表現領域の3分野の関連を図った題材構成の工夫

① 表現領域の3分野の組合せと配列の工夫

児童が、聴き取り、感じ取ったことを表現に生かすことができるように、本研究では、図4のように表現領域における「歌唱」「器楽」「音楽づくり」の3分野の関連を図った指導計画を立てました。

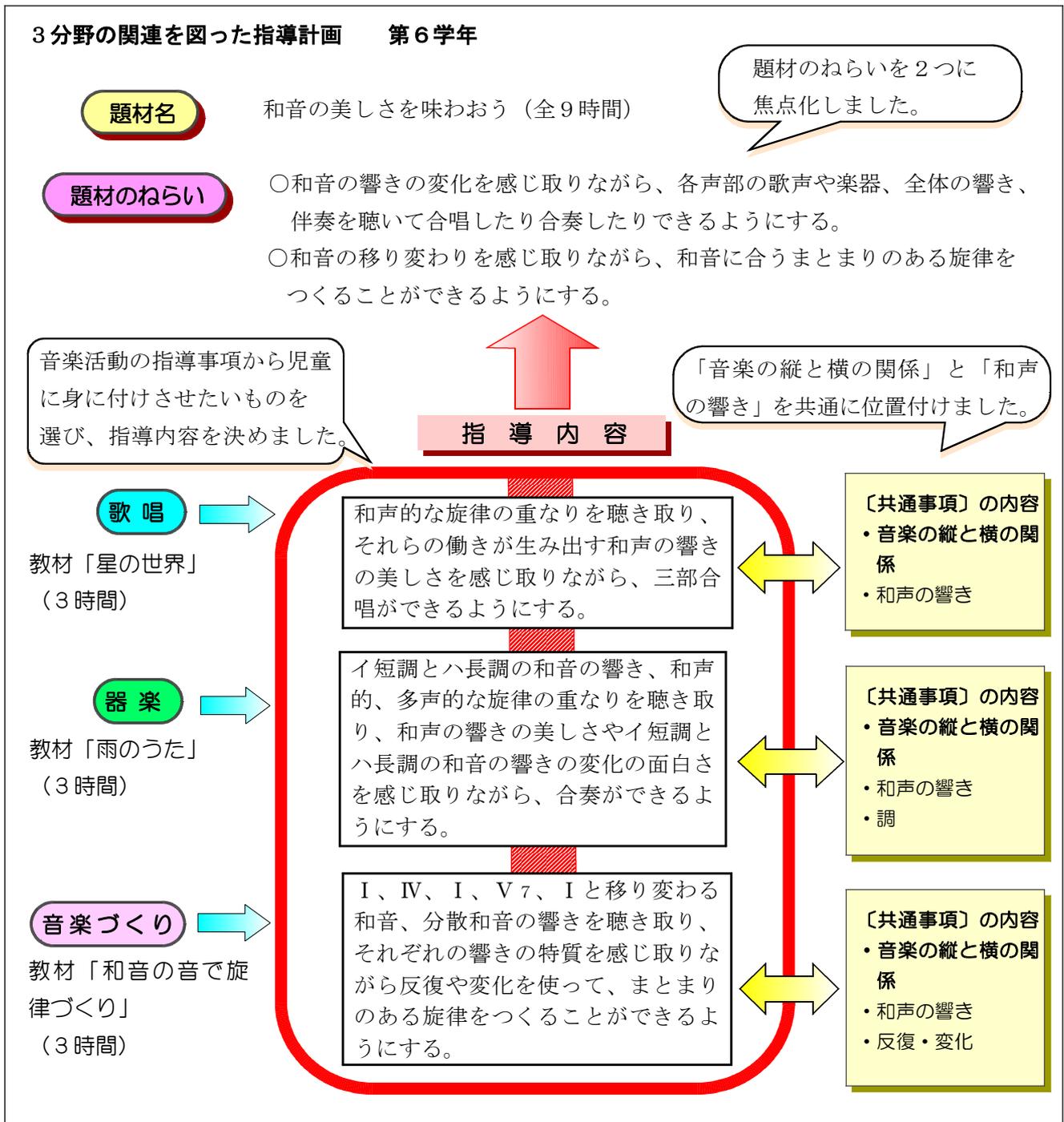


図4 表現領域の3分野の関連を図った学習内容の系統性

表1 取り上げる〔共通事項〕の具体的な内容系統表

	時	表現を工夫する声部(数)	旋律の重なり方	和音伴奏	調	音楽の仕組み
歌 唱 「 星 の 世 界 」	1	主な旋律(1)	和声的な重なり 1つの旋律	※和声的な3つ の旋律が和音 になっている		反復 変化
	2	副次的な旋律(2)	和声的な重なり 1つの旋律			
	3	主な旋律(1) 副次的な旋律(2)	和声的な重なり 1つの旋律			
器 楽 「 雨 の う た 」	4	主な旋律(1) 副次的な旋律(1)	和声的な重なり 多声的な重なり	和音 分散和音	イ短調 ハ長調	
	5	伴奏 低(1)和音(1)	和声的な重なり 多声的な重なり	和音 分散和音	イ短調 ハ長調	
	6	主な旋律(1) 副次的な旋律(1) 伴奏 低(1)和音(1)	和声的な重なり 多声的な重なり	和音 分散和音	イ短調 ハ長調	
音 楽 づ く り 「 和 音 の 音 で 旋 律 づ く り 」	7	主な旋律(1) 伴奏		和音 分散和音	ハ長調	
	8	主な旋律(1) 伴奏		和音 分散和音	ハ長調	反復 変化
	9	主な旋律(1) 伴奏		和音 分散和音	ハ長調	反復 変化

② 「音楽づくり」における指導の過程の工夫

実践の対象となる児童が、「音楽の縦と横の関係」を聴き取り、感じ取ったことを「音楽づくり」に生かすのは、今回が初めてなので、表したい音楽について、音楽表現を見いだすことが難しいことが予想されました。そこで、「二人で音楽をつくる」「一人で音楽をつくる」というように指導過程を工夫し、本題材で、音楽づくりに2回取り組むことができるようにしました。

時	学 習 内 容
<p>7時目～8時目</p> <p>友達と 二人で音楽を つくる</p>	<p>楽しい感じにするために、 付点四分音符を使ってみよう。</p> <p>音楽にタイトルを付けよう。 「朝の散歩」がいいかな？</p>  <p>いいね。このリズムを反復したら、 もっと楽しくなるかも。 演奏してみるから聴いてね。</p> <p>前半が「散歩」には弾んでいるね。 「スキップしたい朝」は どうかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と二人で音楽をつくることによって、同じ音楽について、互いに感想を出し合い、表現の工夫を高めることができるようになります。 ・一人では音楽づくりに自信がない児童が、安心して取り組むことができるようになります。 ・友達と協力して音楽をつくる楽しさを味わうことができるようになります。
<p>9時目</p> <p>一人で オリジナルの音楽を つくる</p>	<p>静かな安らぐ音楽をつくろう。 どんな旋律にしようかな。 伴奏は、分散和音を使おう。</p>  <p>今回は、タイトルを先に決めよう。 「山の音楽」がいいな。 友達に演奏を聴いてもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルの音楽を自分でつくるができるようになります。 ・1回目の音楽づくりで学んだことを表現の工夫を生かすことができるようになります。 ・一人で音楽づくりができた達成感を味わわせ、自信をもつことができるようになります。

図5 音楽づくりにおける指導過程の工夫

2 研究の実際

(3) 実践に向けて取り入れた工夫

イ 聴き取り、感じ取ったことを表現に生かす発問の工夫

児童が、聴き取り、感じ取ったことを表現に生かすことができるように、4つの発問について工夫をしました。本題材「和音の美しさを味わおう」（1時目～9時目）の発問計画は、次に示すとおりです。

表2 表現領域において児童が聴き取り、感じ取ったことを表現に生かす発問計画

歌 唱 「星の世界」 1～3時目	器 楽 「雨のうた」 4～6時目	音楽づくり 「和音の音で旋律づくり」 7～9時目
聴き取り、感じ取り		
1時目	4時目	7時目
「音楽の縦と横の関係」を聴き取り、その働きが生み出す音楽のよさや面白さ、美しさなどを感じ取らせる発問		
<ul style="list-style-type: none"> ★今から2つの「星の世界」を聴きます。それぞれ、どのような星の世界を想像しますか。なぜ、そのように感じたと思いますか。 ★「星の世界」のよさや美しさについて考えてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「雨のうた」の\squareと\squareの部分では、それぞれ、どのような雨の様子を想像しますか。なぜ、そのように感じたと思いますか。 ★\squareと\squareの楽譜を比べ、「調」の他に、どのような違いがあるか見付けましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★今から2つのパターン伴奏を聴きます。それぞれの伴奏から、どのようなことを感じますか。なぜ、そのように感じたと思いますか。
見通しをもつ		
聴き取り、感じ取ったことを基に、表す音楽表現についての方向性を全体で共有させ、見通しをもたせる発問		
<ul style="list-style-type: none"> ★曲のよさや美しさが伝わるようにどのように歌いたいですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ★曲のよさや面白さが伝わるように、どのように演奏をしたいですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ★どちらの伴奏を使って、どのような音楽をつくりたいですか。

表現を工夫しながら、思いや意図をもつ過程

2 時目	5 時目	8 時目
見通しを表現の工夫につなげさせ、音楽表現を工夫しながら、思いや意図をもたせる発問		
<p>★「声が響き合う」「声が溶け込む」ように、どこを、どのように気を付けて歌いたいですか。</p>	<p>★曲のよさや面白さが伝わるように、どこを、どのように気を付けて演奏したいですか。</p>	<p>★「明るく、どんどん楽しくなる」音楽にするために、二分音符をどのようなリズムに変えたらよいですか。</p> <p>★1 つくった音楽のタイトルは何ですか。どのようなことを工夫しましたか。</p> <p>★今から紹介する2曲の音楽のタイトルは、「目覚まし時計」と「広い草原」です。どちらが、どのタイトルだと思いますか。また、なぜ、そのタイトルだと思いますか。</p>

技能を身に付ける

3 時目	6 時目	9 時目
音楽表現を工夫しながら、どのようなことに注意すればよいのかに気付かせる発問		
<p>★グループで、工夫することを2～3つ決めましょう。</p> <p>★それぞれの工夫について、どのようなことに気を付ければよいと思いますか。</p>	<p>★グループで、工夫することを2～3つ決めましょう。</p> <p>★それぞれの工夫について、どのようなことに気を付ければよいと思いますか。</p>	<p>★2 つくった音楽のタイトルは何ですか。どのようなことを工夫しましたか。</p> <p>★学習を振り返り、あなたは、どんなことをこれからの学習に生かしたいと思いますか。</p>

児童が、聴き取り、感じ取ったことを表現に生かすための発問の工夫は、「(4) 授業実践」にも児童の反応を加え、まとめています。